

書式 2

教育研究業績書		
令和 4 年 3 月 31 日		
氏 名 上田 智佳		
研究分野	研究内容のキーワード	
音楽教育	ピアノ指導法、音楽表現	
教育上の能力に関する事項		
事 項	年 月 日	概 要
1. 教育方法の実践例 「幼児音楽基礎 A」「幼児音楽基礎 B」	平成 28 年 4 月 ～平成 29 年 1 月	2 グループに分け、ピアノ個人レッスンと前期は音楽理論の講義、後期は子どもの歌弾き歌レッスンを各 45 分ずつ行った。前期は 15 回の内 4 回講義を担当し、学生の理論理解のためテキストを細かく説明し毎回確認テストを行った。後期は弾き歌いレッスンを 8 回担当し、学生のレベルに合った伴奏を指導し、弾き歌いのレパートリーを増やせるよう導いた。
「子どもと遊び A」「子どもと遊び B」		前期は、コミュニケーションゲームを行い、クラスの雰囲気や和らげる工夫をした。また、学生 1 人ひとりが指導者役を経験し、立案の大切さや援助法の模索など学びにつなげる授業を行った。後期は、大きな行事の計画を立て、実際に西宮市大屋町町内会のクリスマス会にて実践を行った。学生たちは、事前準備の計画性の必要性を実感する貴重な体験となった。
「保育実習指導 I・II・III」		全体授業と分級授業を実施した。分級では少人数での個別指導を実施し、日誌や指導案の書き方や模擬保育の実施と振り返りを行った。
「音楽表現」	平成 28 年 4 月 ～7 月	ピアノの基礎的な演奏に加え、表現を付け加えるレッスンを行った。また、特別講師を招聘し、打楽器の正しい扱い方と子どもへの指導法や子どもの音楽に関する表現の方法を体験的に学べる機会を作った。

「教育実習指導」		Ⅱ回生対象の授業で、5月に行う教育実習に向けて、指導案や日誌の書き方の指導や模擬保育の体験など行うとともに、戻ってきた際の振り返りと次の保育実習Ⅱへつなげる授業展開をした。
「幼児音楽基礎A」「幼児音楽基礎B」	平成29年4月～平成30年1月	1クラス16名の授業内でさらに2グループに分け、ピアノ個人レッスンと前期は音楽理論の講義、後期は子どもの歌弾き歌レッスンを各45分ずつ行った。前期は15回の内7回講義を担当し、学生の理論理解のためテキストを細かく説明し毎回確認テストを行った。後期は弾き歌いレッスンを全コマ担当し、学生のレベルに合った伴奏を指導し、弾き歌いのレパートリーを増やせるよう導いた。
「子どもと遊びA」「子どもと遊びB」		前期は、コミュニケーションゲームを行い、クラスの雰囲気や和らげる工夫をした。また、学生1人ひとりが指導者役を経験し、立案の大切さや援助法の模索など学びにつなげる授業を行った。後期は、協調性を養うことをねらいとして、ミュージックベルの体験や大きな行事の計画を立て、実際に西宮市大屋町町内会のクリスマス会にて実践を行った。学生たちは、事前準備の計画性の必要さを実感する貴重な体験となった。
「音楽表現」	平成29年4月～7月	ピアノの基礎的な演奏に加え、表現を付け加えるレッスンを行った。また、特別講師を招聘し、打楽器の正しい扱い方と子どもへの指導法や子どもの音楽に係る表現の方法を体験的に学べる機会を作った。
「保育実習指導Ⅰ」		Ⅰ回生対象の授業で、8月に行う初保育実習に向けて、日誌の書き方や実習の心構えなど授業を行った。指導案を書き模擬保育を行うにあたっては分級制度を取り入れ、学生5～6名に対し教員1名の少人数で細かく指導を行った。
「教育実習指導」	平成29年9月～平成30年1月	本年度より本授業をⅠ回生後期に開講。実習がない期間にゆとり時間をかけて、日誌や指導案の書き方を学び直す時間とした。8月の保育実習で書いた日誌を1日ずつ書き直し、教員が手分けして個別指導を行った。指導案作成と模擬保育を2回実施し、経験を増やす工夫をした。

<p>「幼児音楽基礎A」「幼児音楽基礎B」</p>	<p>平成30年4月～平成31年1月</p>	<p>集団授業を担当した。「幼児音楽基礎A」では主に本学オリジナルテキストを使用し、ピアノを演奏するうえで必要な音楽理論やリズム、初見演奏力向上の授業を行った。「幼児音楽基礎B」では保育現場で必要とされる子どもの歌の弾き歌いレッスンを行っている。基本的には個人レッスンとし、各学生のレベルに応じた伴奏付けを指導し、レパートリーを増やすよう努めている。また、後期後半は教員4名立会いの下、30分間集団レッスンを行い、聴音や移調などのトレーニングも行っている。</p>
<p>「幼児教育基礎演習A」「幼児教育基礎演習B」(フィールドワーク引率)</p>		<p>保育実習実施にあたり必要とされるマナーや筆記能力の向上のための授業を行った。また甲子園学院幼稚園見学の企画、調整を行った。</p> <p>8月にはフィールドワークとして子どもミュージカル「アラビアンナイト」鑑賞に出かけ、子どもの表現力や演出を学んだ。</p> <p>チームワークを必要とするミュージックベル演奏(発表会)を実施し、人前で演奏する(発表する)にあたり、準備の必要性や心情などを伝えた。2月に施設実習を控え、特別講師を招聘し施設における保育士の役割の講演を企画したり、DVD鑑賞したりして施設理解に繋がる授業を行った。</p>
<p>「保育実習指導I」「保育実習指導II」「教育実習指導」</p>	<p>平成30年4月～平成31年1月 平成31年4月～令和2年1月</p>	<p>それぞれ実習指導授業後に実施される実習のための準備として、指導案作成指導や模擬保育の実施を行った。模擬保育は全学生が先生役を経験し、実施後に必ず振り返り指導を行っている。</p>
<p>「音楽表現」(フィールドワーク引率)</p>	<p>平成30年4月～7月</p>	<p>ピアノ演奏に留まらず幅広い音楽表現の実践的授業を展開した。音楽を活用したゲームや身体表現、打楽器の演奏方法、ピアノ連弾など実体験することにより、子どもの豊かな表現をサポートできる方法を伝えた。</p> <p>ミュージカル「レ・ミゼラブル in 西宮」鑑賞を企画し、演奏法や演出を学んだ。</p>
<p>「保育内容表現」</p>	<p>平成30年4月～7月 平成31年4月～令和元年7月</p>	<p>保育内容5領域を結びつける授業として複数教員で授業を進めた。実際に体験を通して表現したり、テキストの内容をパワーポイントにまとめ発表を行ったり、表現を幅広く学べ</p>

	月	る工夫を行った。
「ピアノ基礎」「幼児音楽基礎Ⅰ」	平成31年4月 ～令和2年1月	ピアノ個人レッスンと前期は音楽理論の講義、後期は子どもの歌弾き歌レッスンを各45分ずつ行った。前期は15回の内8回講義を担当し、学生の理論理解のためテキストを細かく説明し毎回確認テストを行った。後期は弾き歌いレッスンを非常勤講師1名とペアで4コマ担当し、学生のレベルに合った伴奏を指導し、弾き歌いのレパートリーが増やせるよう導いた。講師には後半一人で集団の弾き歌いレッスンができるよう導いた。
「子どもと音楽表現」	平成31年4月 ～7月	表現を重視したピアノ演奏法を指導した。また音楽用語や作曲家、演奏曲の研究を行いパワーポイントでの発表会を実施した。
「ピアノ基礎」	令和2年5月 ～8月 令和3年4月 ～7月	遠隔では複数教員が分担して『幼児音楽基礎・導入編』テキストの解説授業を行った。対面では、個人レッスンと集団授業を実施し、主に集団授業で音楽理論を担当した。
「幼児音楽基礎Ⅱ」		遠隔、対面それぞれ複数教員が分担してピアノレッスンを実施した。教則本に加え教育実習に向けて季節の子どもの歌のレッスンも行った。実習先や採用試験課題曲についても対策レッスンを行った。
「子どもと音楽表現」		遠隔では表現に必要な音楽用語や音楽にまつわる子どもの表現について授業を行った。対面授業では小打楽器の扱い方や律動の援助法、指揮法や音楽表現についてのPP発表会などを実施した。
「保育実習指導Ⅰ」 「保育実習指導Ⅱ」	令和2年5月 ～8月	5月実施分は遠隔にて、指導案、手作り教材作成や保育用語・漢字学習など自習を中心にそのサポートを行った。対面授業に入ってから、具体的な指導案作成の指導や模擬保育を実施した。
「保育実習指導Ⅱ」	令和2年9月 ～令和3年1月	カリキュラム変更に伴いI回生開講となり、2月実施の施設実習および次年度の保育実習に向けて、日誌や指導案の書き方や模擬保育の充実を図った。
「幼児音楽基礎Ⅰ」	令和3年9月 ～令和4年1月	ピアノ個人レッスンを行った。個人レッスン内で必要な音楽理論の授業も行い、演奏技術

<p>「卒業研究」</p>	<p>平成 28 年度 平成 29 年度 平成 30 年度 令和 2 年度</p>	<p>の指導のみならず理論や弾き歌いの奏法など幅広くレッスンした。</p> <p>卒業研究発表会に向けての指導を行う。 ピアノソロ「リスト：愛の夢第 3 番」「ショパン：幻想即興曲」「ショパン：エチュード革命」 ピアノソロ「ショパン：華麗なる大円舞曲」 ピアノソロ「モーツァルト：きらきら星変奏曲」 ピアノ 6 手連弾「シューベルト：軍隊行進曲」 ピアノソロ「ブラームス：間奏曲 Op.118-2」 「ラフマニノフ：プレリュード Op.3-2 鐘」</p>
<p>2. 作成した教科書、教材 「幼児音楽基礎 A」に使用するための教材「幼児音楽基礎・導入編～読譜力を養うために～」を発行</p> <p>「幼児音楽基礎 A」に使用するための教材「幼児音楽基礎・導入編～読譜力を養うために～」改訂版を発行</p>	<p>平成 26 年 3 月 平成 28 年 3 月</p>	<p>今まで楽典の教材を手作りし配布していたが、それらに修正を加えて、授業用教材として出版した。保育者養成にピアノのレッスンは欠かせない。近年未経験者が増加しピアノの練習が負担となっている。またピアノの上達には練習に加えて理論の理解が必要と教員は考えている。音楽表現の授業に使用するための教材、『幼児音楽基礎・導入編～読譜力を養うために～』を発行し、幼児音楽基礎 A・B の授業に使用している。</p> <p>平成 26 年に発行したテキストを 2 年間実際に幼児音楽基礎 A・B の授業で使用し、訂正や加筆の必要箇所があったため改訂版を発行した。授業内で使用し、理解できているかの確認を行っている。</p>
<p>3. 教育上の能力に関する大学等の評価 授業評価アンケート</p>	<p>平成 29 年度～</p>	<p>担当している科目において、おおむね「4」以上の評価を受けている。</p>
<p>4. 実務の経験を有する者についての特記事項</p>	<p>平成 24 年 11 月 9 日 平成 25 年 3 月 20 日</p>	<p>兵庫県立家島高等学校芸術鑑賞会 家島高校の芸術鑑賞会にて演奏した。高校生に加え中学生も鑑賞しており、生徒に親しみやすいプログラムを企画した。ソプラノやテノール歌手のソロ・デュエット、男性コーラスの伴奏をした。</p> <p>西宮市レクリエーション活動協会 特別研修会講師西宮市レクリエーション協会平成 24 年度後期特別研修会にて、ミュージックベル&トーンチャイムを使った音楽レクリエーション実技の講習を行う。</p>

<p>5. その他 甲子園学院高校との連携講座</p>	<p>平成 28 年 6 月 ～平成 29 年 3 月</p> <p>平成 29 年 6 月 ～平成 30 年 3 月</p> <p>令和元年 5 月 ～令和4年2月</p>	<p>本年度より始まった甲子園学院高等学校5年一貫幼教コース1年生の授業が新たに加わった。短大で行われている授業を高校生に分かりやすく体験的に行える工夫をした。他のコースの生徒にも、同様に幼児教育の興味がわくような工夫をおこなった。3年生入学前講座では、短大入学前にピアノレッスンが行えるよい機会であり、生徒に入学後スムーズにレッスンが進められるよう短大生と同様の内容でレッスンを行った。</p> <p>本年度は5年一貫幼教コースが1、2年生に増え、授業計画や授業担当者のマネジメントを行った。授業では生徒に本学の授業を体験させ、よりよく知ってもらう工夫を行った。本学入学予定者の3年生に対しては入学前講座のみならずピアノの特別講座を開きピアノレッスンの回数を増加して技術向上に努めた。</p> <p>甲子園学院高校5年一貫幼教コースが3学年全てそろったため、授業内容や担当者の分担などマネジメントを行った。幼稚園や保育園の協力を得て見学の機会を増やした。音楽関連の授業を担当し、子どもと音楽の関りや発達に応じた援助法を授業した。</p>
<p>高大連携講座</p>	<p>平成 28 年 6 月 30 日 平成 29 年 9 月 14 日 平成 30 年 9 月 6 日</p> <p>平成 28 年 6 月 21 日 平成 29 年 9 月 11 日 平成 30 年 9 月 11 日 令和元年 9 月 10 日 令和 2 年 9 月 15 日 令和 3 年 11 月 16 日</p>	<p>兵庫県立尼崎高校にて、就職についての講義と音楽表現を中心とした授業を行った。ミュージックベルの指導をし、生徒全員が発表会を体験する授業とした。</p> <p>大阪府立茨田高等学校「コミュニケーション総合」授業を担当した。言葉のみでなく、幅広いコミュニケーション法を体験してクラスメイトとの交流を図る授業展開を行った。</p>

	平成28年11月11日・18日	兵庫県立川西明峰高等学校「明峰の学び」の講師を務めた。保育の仕事の紹介や保育所・幼稚園の在り方の講義、幼少期を思い出した遊びとコミュニケーションについて、体験的授業を行った。
	平成29年7月12日	高校内ガイダンスとして兵庫県立東播磨高等学校にて幼児教育保育の模擬授業を行った。資格・免許について、保育の仕事について講義し、遊びの体験をとおして保育者の役割を伝えた。
	平成30年11月21日	高校内ガイダンスとして兵庫県立芦屋高等学校で模擬授業を行った。幼児教育における免許取得方法や種類を説明し、体験的授業として手遊びやゲームを実施し、子どもの発達に応じた遊びがあることや、そこから保育者のねらいや年間の見通しがあることなどを講義した。
	平成30年3月	「入学前教育」 平成30年4月入学予定者（幼児教育保育学科）対象にピアノレッスンを行った。3月上旬実施のプレガイダンス時にピアノ初心者および初級者と判断した者と希望者に対し3月下旬に2回レッスンを行い、1回生前期到達目標に少しでも近づくよう練習方法を伝えた。

職務上の実績に関する事項

事 項	年 月 日	概 要
1. 資格、免許	平成9年3月31日	中学校教諭(音楽)1種免許 平八中一第一九四七号 取得 (免許更新講習未) 高等学校教諭(音楽)1種免許 平八高一第二二八五号 取得 (免許更新講習未)
2. 特許等		
3. 実務の経験を有する者についての特記事項	平成25年度～現在に至る 平成26年度～	「高大連携講座企画」 兵庫県立尼崎高等学校、兵庫県立伊丹西高等学校の高大連携講座の内容や日程調整など企画を担当している。 甲子園学院高等学校連携講座の日時・内容・

	29年度 令和4年度	担当者の調整、企画を担当した。年間計画に加え、後期には入学予定者対象の入学前講座も実施のため、全体を見通した調整を行っていた。特に平成28年度からは甲子園学院高等学校5年一貫幼教コースが立ち上がり短大教員による授業コマ数が増え、高校教員と協議を重ね内容を精査し担当者の配置を考えた。
	平成27年度～ 平成30年度	「大学案内作成」 大学案内パンフレット作成主担当とし、業者との打ち合わせ、撮影のスケジュール調整や学生の指導、ページ内容の確認、校正などを行った。
	平成28年度・ 29年度 平成30年度 令和元年度	「I回生学年主任」 「I・II回生学年主任」 学年主任として担任団や各部署と連携し、学生が充実した学生生活を送れるようサポートしている。勉強や進路に不安がある場合は保護者と面談を行ったり、個別に学生と面談を行ったりしている。
	平成30年度	「保育士養成課程等の見直し」担当者としてカリキュラムの編成や教授内容等書類作成を行った。
	令和元年度～	「学生部長」 学生生活全般の支援を行うべく、学生部教職員をまとめ活動を行った。 4月の保健行事、10月の大学祭、1月の学内成人式は学生部主体の行事として実施した。今年度は新しい取り組みとして大学祭前日に「大学祭前日祭」として球技大会を行った。また、就職課も一体となっており、学生の就職活動支援も行っている。9月実施の「保護者学生合同就職説明会」ではI回生からの意識付けの大切さを含めた内容で講演した。
	(令和2年度)	新型コロナウイルス感染症対策を含み学生の健康管理を重点的に対応した。 「大学祭」は代替行事を学内のみで実施した。その他の講演や行事は感染対策を考慮して対面、遠隔双方で実施した。
	平成26年～	瀬川バレエスタジオ「タン・リエ」

			レッスンピアニスト	
4. その他				
研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
(学術論文) 1 保育者養成における実習での自己評価と課題	共	平成 23 年 3 月 31 日	全国保育士養成協議会「保育士養成研究」第 29 号 (59-68)	保育者養成校の学生は、実習において子どもの姿を予想することが難しく、計画通りの保育をスムーズに行うことに固執し、子どもの興味や意欲を引き出すという視点を持つまでに至っていないことも多い。本研究では、実習において本学の学生が行った、読み聞かせ、手遊び、ピアノを使った保育を取り上げ、実習指導案の学生の自己評価と実習園の評価の分析を行い、学生の省察が、次回の部分実習でどのように活かされているかの分析を行った。
2 保育の音楽表現技術についての一考察	共	平成 24 年 3 月 31 日	甲子園短期大学紀要第 30 号 (41-46)	本学学生の実習記録と実習後の記述式アンケートを通じてピアノの使用状況や、保育現場が求める音楽表現を分析し、養成校としての指導法を考察した。
3 保育者養成課程における教材研究 (2)	共	平成 25 年 3 月 31 日	甲子園短期大学紀要第 31 号 (101-106)	本学「幼児音楽基礎 A」において作成した楽典解説と問題、ピアノトレーニングの成果と

4 幼児音楽基礎・導入編～読譜力を養うために～	共	平成 26 年 3 月 1 日	甲子園短期大学	<p>課題をまとめ、今後の課題も含め考察した。</p> <p>本学幼児教育保育学科 I 回生のために作成した。ピアノ上達の助けとなるよう、必要最低限の音楽基礎知識のみ掲載し、読譜力向上を目指す。</p>
5 保育者養成校の「子どもと遊び」の授業における学生の意識向上とその課題	共	平成 26 年 3 月 31 日	甲子園短期大学紀要 第 32 号 (93-97)	<p>本学で開講している「子どもと遊び」の授業では、学生の前で一人ずつ指導発表を行っている。その体験を振り返り、保育者として必要なことは何かをアンケート調査し、それをまとめた。</p>
6 保育者養成校におけるピアノ指導の研究—学生のつまずきに着目して—	単	平成 27 年 3 月	兵庫教育大学大学院 修士論文	<p>保育者養成校では年々ピアノの未経験者が増加している。また、練習の必要性を感じていながらも練習方法が分からず、前に進めない学生も多数存在する。そこで、保育者養成校(短大)での授業の実態を調査、さらに学生のつまずきを調査しまとめた。そして、学生が保育現場で戸惑うことなくピアノ演奏に取り組める課題を作成、実践、考察を行った。</p>
7 甲子園短期大学オリジナルテキスト『幼児音楽基礎・導入編～読譜力を養うために～』の使用結果報告	共	平成 28 年 3 月	甲子園短期大学紀要 第 34 号	<p>平成 26 年に完成させたオリジナルテキストを使用した結果を報告としてまとめた。学生の意見では肯定的な意見が多く、使いやすい教材だったと言える。今後使用を続けるにあたって、必要と思われる箇所を修正、本文に記載し、平成 28 年 3 月、改訂版を出版することとした。</p>
8 保育者養成校入学者のそれまでの音楽経験についての調査報告	単	平成 28 年 3 月	甲子園短期大学紀要 第 34 号	<p>近年幼児教育における音楽体験が子どもの心の成長や人格形成に重要な役割を果たすと指摘されているが、保育者を目指す学生が将来それを担うにはあまりにも未熟である。ピア</p>

<p>9 初心者学生の模擬保育見学による意識変容に関する縦断的調査</p>	<p>共</p>	<p>平成 29 年 3 月</p>	<p>甲子園短期大学紀要第 35 号</p>	<p>ノ演奏技術の習得は学生にとって大きな負担である。そこで、それまでの音楽経験を調査することにより、学生指導に活かせることは何か、課題を見出した。</p> <p>教育実習指導、保育実習指導の授業では実習へ行く前に必ず学生全員が模擬保育を体験する。入学して間もない I 回生が模擬保育を行うには経験も知識も無いためイメージがしにくい。そこで本学では II 回生の選抜された学生の模擬保育を 1 回生 5 月に見学している。この経験をもとに指導案作成や模擬保育実践への理解がスムーズか、行動可能性を増加させることに役立ったかを調査し、その意識変容を分析した。</p>
<p>10 学生の運動経験と健康や事故防止に関する認知度との関連</p>	<p>共</p>	<p>令和 2 年 3 月</p>	<p>甲子園短期大学紀要第 38 号</p>	<p>短期大学生の運動経験値をアンケート調査行い、そこからどの程度危険や事故防止に関して認識があるかを調査した。授業での学びの効果は一定あるものの、経験値からのデータを読み取ることは難しかった。今後の課題も踏まえた報告を行った。</p>
<p>11 保育士の乳児に対する言葉がけにおける音声的特徴－学生の意識調査を通して－</p>	<p>共</p>	<p>令和 3 年 3 月</p>	<p>甲子園短期大学紀要第 39 号</p>	<p>日常の保育場面において乳児への言葉がけにふさわしい音量や速度などの音声的特徴について、学生がどのように捉えているかアンケート調査を行った。そして保育士の実験の経験や先行研究と学生の捉え方の違いを見出し、今後の授業展開の課題とした。</p>

(その他)				
1 兵庫県立 家島高等学校 芸術鑑賞会	平成 24 年 11 月 9 日	真浦区民ホール		家島高校の芸術鑑賞会にて演奏した。ソプラノやテノール歌手のソロ・デュエット、男性コーラスの伴奏をした。
2 クリスマス コンサート	平成 24 年 12 月 9 日	自宅		地元ボランティアグループ「さわやか会」主催で地域交流のため演奏会を開催した。ショパンのノクターンやモーツァルトのトルコ行進曲などを演奏した。
3 クリスマス コンサート	平成 24 年 12 月 23 日	竹本スタジオ		声楽の発表会にて伴奏した。
10 第 7 回リト ルコンサート	平成 25 年 3 月 30 日	姫路キャスパホール		ピアノ発表会における企画と演奏指導を行う。講師演奏としてピアノ連弾「リベルタンゴ」を演奏した。
4 歌のフェス ティバル	平成 25 年 7 月 15 日	姫路キャスパホール		ソプラノやテノール歌手、合唱の伴奏を演奏した。
5「サークル湖」 ジョイントコ ンサート	平成 25 年 8 月 24 日	姫路キャスパホール		ソプラノ歌手のソロの伴奏を行った。
6 夢色コンサ ート	平成 25 年 11 月 24 日	太子町あすかホール		ブラームス：2 台のピアノ「ヘンデルの主題による変奏曲」を演奏した。
7 歌のフェス ティバル	平成 26 年 7 月 21 日	姫路キャスパホール		声楽（イタリア歌曲等）およびコーラス（美しく青きドナウ他）の伴奏を演奏した。
8「サークル湖」 ジョイントコ ンサート	平成 26 年 8 月 23 日	姫路キャスパホール		ソプラノ歌手ソロ演奏の伴奏で日本歌曲を演奏した。
9 瀬川哲司ト ーク & パフォ ーマンス	平成 27 年 3 月 22 日	姫路キャスパホール		バレエダンサー瀬川哲司氏の講演会の中で、幼児対象のワークショップが行われ、その際ダンスの伴奏ピアノストを務めた。
10 第 8 回リト ルコンサート	平成 27 年 3 月 28 日	姫路キャスパホール		ピアノ発表会における企画と演奏指導を行う。講師演奏としてピアノ連弾「フォーレ：ドリ一組曲」を演奏した。
11 歌のフェス ティバル	平成 27 年 7 月 20 日	姫路キャスパホール		声楽（イタリア歌曲等）およびコーラス（美しく青きドナウ他）の伴奏を演奏した。
12 「サークル 湖」ジョイント コンサート	平成 27 年 8 月 22 日	南風会サロン		ソプラノ歌手ソロ演奏の伴奏でイタリア歌曲を演奏した。
13 歌のフェス	平成 28 年 7	姫路キャスパホール		ソプラノ歌手等声楽（イタリア

ティバル		月 18 日		歌曲等) およびコーラス (美しく青きドナウ他) の伴奏を演奏した。
14 「サークル湖」ジョイントコンサート		平成 28 年 8 月 21 日	南風会サロン	ソプラノ歌手ソロ演奏の伴奏でイタリア歌曲および日本歌曲を演奏した。
15 第 9 回リトルコンサート		平成 29 年 4 月 2 日	姫路キャスパホール	ピアノ発表会における企画と演奏指導を行う。
16 歌のフェスティバル		平成 29 年 7 月 17 日	姫路キャスパホール	ソプラノ歌手等声楽(イタリア歌曲等) およびコーラス (美しく青きドナウ他) の伴奏を演奏した。
17 「サークル湖」ジョイントコンサート		平成 29 年 8 月 19 日	南風会サロン	ソプラノ歌手ソロ演奏の伴奏でイタリア歌曲および日本歌曲を演奏した。
18 歌のフェスティバル		平成 30 年 7 月 16 日	姫路キャスパホール	ソプラノ歌手、テノール歌手のソロ演奏やコーラスの伴奏を行った。
19 第 10 回リトルコンサート		平成 31 年 3 月 28 日	姫路キャスパホール	ピアノ発表会における企画、指導を行う。幼児から中高生までの生徒のソロ演奏や連弾の指導を行う。講師演奏として「ドヴォルザーク：スラブ舞曲」を演奏した。
20 ムゼッタのリサイタル		平成 31 年 4 月 21 日	南風会サロン	ソプラノ歌手竹本和美の古希記念コンサート。声楽曲の伴奏とピアノソロを演奏した。
21 歌のフェスティバル		令和元年 7 月 15 日	姫路キャスパホール	毎年恒例の歌のコンサートにて、ソプラノ歌手のソロ演奏やコーラスの伴奏を行った。
22 リトルコンサート		令和 3 年 3 月 30 日	姫路キャスパホール	ピアノ発表会の企画、運営、指導を行う。
23 歌のフェスティバル		令和 3 年 8 月 5 日	アクリエひめじ	ソプラノ歌手のソロ、コーラスの伴奏に加え、ピアノソロ演奏を行った。